

2025 年 7 月 30 日

各 位

会社名 SBI グローバルアセットマネジメント株式会社
(コード番号 4765)

(上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)

代表者 代表取締役社長 朝倉 智也

開示責任者 常務執行役員 CFO 小笠原 靖行

SBI が切り拓く次世代のクレジット投資
本邦初※、日々で設定・解約可能なプライベート・クレジットファンド誕生
『SBI オルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド (年4回決算型)』

当社子会社の SBI アセットマネジメント株式会社 (以下「SBI アセット」) は、KKR が運用する欧米のプライベート・クレジットに投資を行う上場投資信託をはじめ、複数の大手資産運用会社が運用を行う ETF に分散投資を行う「SBI オルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド (年4回決算型)」(以下「本ファンド」) を、2025 年 9 月 9 日 (火) に設定・運用を開始しますのでお知らせいたします。

ファンド名	SBI オルタナティブ・ハイインカム・セレクト・ファンド (年4回決算型)
投資対象資産／投資対象地域	海外／その他資産 (パブリック・クレジット、プライベート・クレジット)
実質的な負担 (年率・税込)	1.5204%程度
主要投資対象ファンド (ティッカー) ※概要は次頁ご参照	KKR クレジット・インカム・ファンド (KKC) SPDR ブラックストーン・シニアローン ETF (SRLN) フランクリン・シニアローン ETF (FLBL) ジャナス・ヘンダーソン・B-BBB CLO ETF (JBBS) SPDR SSGA IG パブリック&プライベートクレジット ETF (PRIV)
設定日	2025 年 9 月 9 日 (火) (予定)

注目すべきは、非公開ローンや担保付き債権などで構成されるプライベート・クレジットに投資可能である点です。これらは、相対取引で組成され、多くが第一優先担保付きであり、近年、低金利時代の代替投資として世界的に急拡大しています。

従来、この種のオルタナティブ資産に投資を行う投資信託は、最低投資額 500 万円以上で、月 1 回の基準価額と購入申込み、四半期解約で解約代金は数週間後の支払いなど、解約の上限設定も含めて、流動性が低く、かつコストの高さを含めてご投資家に大きな負担をおかけするものでしたが、本ファンドでは、一般の公募投資信託と同様、基準価額は毎営業日に公表、申込・解約は原則日次、解約代金も 6 営業日に受け取り可能と、機動性と利便性を飛躍的に高めております。

SBI アセットでは今後も、「顧客中心主義」のもと、低コストで良質な運用商品を提供することにより、投資家の皆さまの最適な資産形成に貢献してまいります。

以上

※：プライベート・クレジット投資を含む公募投資信託として。ウェルズアドバイザー株式会社調べ (2025 年 6 月 30 日現在)

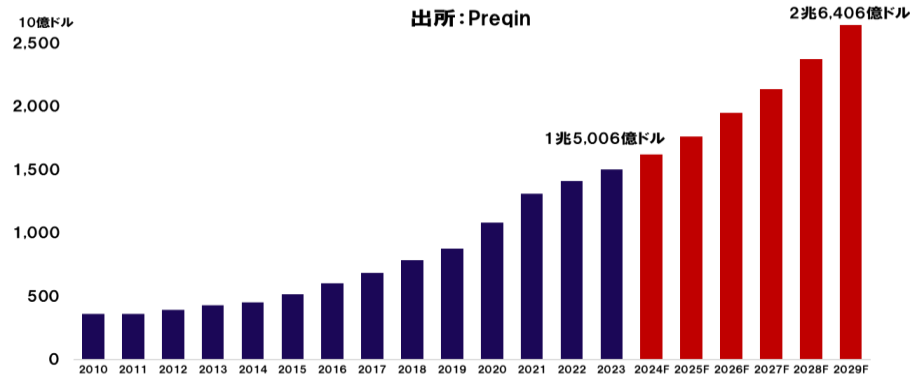
****【本件に関するお問い合わせ先】*****

SBI グローバルアセットマネジメント株式会社 管理本部 電話:03(6229)0812 メールアドレス: sbigam@sbiglobalam.co.jp

SBI アセットマネジメント株式会社 商品企画部 電話:03(6229)0170

(金融商品取引業者 関東財務局長 (金商) 第 311 号、加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会)

【ご参考】 プライベート・クレジット投資の資産運用額推移と今後の見通し



【投資対象ファンドおよび運用会社の概要】

名 称	KKR クレジット・インカム・ファンド (KKC)
投 資 方 針	オーストラリア証券取引所 (ASX) 上場の当ファンドは、KKR のクレジット投資チームが運用する複数戦略への投資を通じ、リスク調整後リターン追求と、収益創出を目的とした多様なオルタナティブ・クレジット投資ポートフォリオへのアクセスを提供することを目指します。戦略は、パブリック・クレジット分野の「グローバル・クレジット・オポチュニティ戦略」と、プライベート・クレジット分野の「欧州ダイレクト・レンディング戦略」の二つによって構成されています。資金の借入により、レバレッジをかけることが可能ですが、流動性管理に限定されます。
管 理 報 酬	年 1.10%
運 用 会 社	KKR オーストラリア・インベストメント・マネジメント・ピーティーワイ・リミテッド 運用会社は、KKR & Co. Inc. (通称 KKR)の一部門です。KKR は米国に本社を置く世界的な投資会社で、1976 年に設立、2010 年にニューヨーク証券取引所に上場され、プライベート・エクイティ、クレジット、不動産、インフラ、保険などの分野で幅広い投資活動を行っています。

名 称	SPDR® ブラックストーン・シニアローン ETF (SRLN)
運 用 方 針	本 ETF は、原則として、純資産（投資目的の借入れも含む）の 80%以上をシニアローンへ投資することにより、Markit iBoxx 米ドル建てリキッド・レバレッジド・ローン指数およびモーニングスター LSTA 米国レバレッジド・ローン 100 指数を上回る投資成果を目指します。シニアローンへの投資に際しては、ファンドのサブアドバイザーである Blackstone Liquid Credit Strategies LLC は、ファンドの流動性と価格透明性の維持に努め、投資対象証券を選定し、一般的なローン市場よりもボラティリティが低いと考えるポートフォリオ構築に努めます。
管 理 報 酬	年 0.70%
運 用 会 社	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ・ファンズ・マネジメント・インク 運用会社は、ステート・ストリート・インベストメント・マネジメント (State Street Investment Management)の一部門です。State Street Investment Management は 1978 年に SSGA として設立され、米国マサチューセッツ州ボストンに本拠地を置く世界有数の資産運用会社の一つです。

名 称	フランクリン・シニアローン ETF (FLBL)
運 用 方 針	本ファンドは、資産の少なくとも 80%をシニアローンおよびシニアローンへのエクスポージャーを提供する投資を組入れます。
管 理 報 酬	年 0.45%
運 用 会 社	フランクリン・アドバイザーズ・インク 運用会社は、フランクリン・テンプレトン・インベストメンツ (Franklin Templeton Investments)グループの一員で、このグループの中核運用会社の一つです。グループの親会社である Franklin Resources, Inc. は 1947 年に設立され、ニューヨーク証券取引所に上場し、世界 150 か国以上でサービスを展開するグローバル資産運用会社です。

名 称	ジャナス・ヘンダーソン・B-BBB CLO ETF (JBBS)
運 用 方 針  JBBS B-BBB CLO ETF	主に米国の BBB 格の CLO に投資を行う ETF です。投資対象は B から BBB までの格付けの CLO※で、変動金利かつデフォルトリスクが低く、伝統的な債券資産クラスとの相関性が低い、高い利回りの獲得が期待できる証券へのアクセスを提供することを目指しています。 ※CLO : Collateralized Loan Obligation (ローン担保証券)
管 理 報 酬	年 0.48%
運 用 会 社	ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・US・エルエルシー 運用会社は、グローバル資産運用会社であるジャナス・ヘンダーソン・グループ(Janus Henderson Group plc)傘下の運用会社です。Janus Henderson Group plc は 2017 年、米国のジャナス・キャピタル・グループと英国のヘンダーソン・グローバル・インベスターズの合併により誕生、ニューヨーク証券取引所に上場し、世界に 25 拠点を構えグローバルな運用体制を構築しています。(2025 年 3 月末現在)

名 称	SPDR® SSGA IG パブリック&プライベートクレジット ETF (PRIV)
運 用 方 針  SPDR® SSGA IG Public & Private Credit ETF	主に投資適格債券(パブリック・クレジット商品とプライベート・クレジット商品の両方を含む)に配分するアクティブ運用ファンドです。 幅広い投資適格債券に積極的に配分することで、インカムと並行してリスク調整後リターンの最大化を目指しています。また、アポロ・グローバル・セキュリティーズ・エル・エル・シー(Apollo Global Securities, LLC)が調達するプライベート・クレジット商品に投資する場合があります。
管 理 報 酬	年 0.70%
運 用 会 社	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ・ファンズ・マネジメント・インク 運用会社は、ステート・ストリート・インベストメント・マネジメント(State Street Investment Management)の一部門です。State Street Investment Management は 1978 年に SSGA として設立され、米国マサチューセッツ州ボストンに本拠地を置く世界有数の資産運用会社の一つです。

※投資対象ファンドは、それらの資産規模や市況動向により構成比率が変わります。また委託会社の判断によって追加・変更される場合があります。